

パワー・トゥ・ ザ・ピープル

グローバルからローカルへ



制作：VPRO 監督：サビーヌ・ルッベ・バックナー 配給：ユナイテッドピープル オランダ / 2012年 / 49分
unitedpeople.jp/p2p

vpro U UNITED PEOPLE



イラスト：工房まる

GO! ローカル! 信頼をベースにした 自立型の社会が、 もう、始まっています。

100%
クリーンエネルギー
を実現したサムソ島。
その秘訣は？

住宅すべてが
発電所
になる？

風力発電への
投資、実は銀行より
金利が高い？



サムソ島は電力を自給するだけでなく、余った電力をデンマーク本島に売るまでになりました。仲間と力を合わせ、自分たちのコミュニティを救いたかったのです。ソーレン・ハーマンセン氏 (サムソ・エネルギー・アカデミー代表)

循環型の経済システムが必要です。それが、協力と信頼に根ざした新しい社会の幕開けとなるでしょう。マーヤン・ミネスマ氏 (グリーン経済のバイオニア)



エネルギー革命を実現するためには、意識の転換がカギとなるのです。ジェレミー・リフキン氏 (文明批評家)



市民のパワーを活かした、とびきりハッピーな分散型社会って？



”人々にパワーを” これこそ究極の民主化といえるでしょう。

『パワー・トゥ・ザ・ピープル』には、オランダで再生可能エネルギー普及に取り組む活動家や、10年かけてデンマークのサムソ島を100%クリーンエネルギー化を実現し、2008年にTIME誌の「環境ヒーロー」に選出されたソーレン・ハーマンセンの取り組みなどを紹介する、私たちに勇気や力を与えてくれる明るいビジョンに満ち溢れたドキュメンタリーです。本作のナビゲーターは、第三次産業革命の提唱者のジェレミー・リフキン。彼は欧州委員会、メルケル独首相をはじめ、世界各国の首脳・政府高官のアドバイザーを務めているエネルギー革命のキー

パーソンです。「大きな社会」から、顔の見える「小さな社会」へ、グローバルからローカルへ。大手電力会社に頼らず自らエネルギーを創出する住民グループたち、大手保険会社ではなく、顔の見える者同士がお金を出しあって作った基金など、新しい経済システムへ移行が始まっています。地域でお金もエネルギーも循環し、人々が生き活きと自らのエネルギーを活かして働く様子が描かれています。まさに、パワー・トゥ・ザ・ピープル。人々に電力を！人々に力を！市民が主導権を握る、新たな時代へようこそ！



-Message- 飯田哲也 (ISEP 環境エネルギー政策研究所所長)

15年前にデンマークの小さな島で出会った1人の男が掲げた「未来への夢」が、今やかたちとなり、世界中の人々に光と力を与えている。3.11後の日本に生きる私たちには、すでに技術も政策も資金も方法もある。今こそ、石油や核の独占と争いから、太陽による平和と自立へと、自分自身の手で未来を取り戻した彼の挑戦の後に続くべき時だ。未来は予測するものではなく、選び取るものだから。

題名: パワー・トゥ・ザ・ピープル ~ グローバルからローカルへ ~ 監督: サビーヌ・ルッベ・バックナー 配給: ユナイテッドピープル オランダ/2012年/49分
イラスト: 石井悠輝雄 (工房まる) / タイトルロゴ: 松永大樹 (工房まる)

自主上映者募集中! film@unitedpeople.jp または <http://unitedpeople.jp/p2p> にて詳細をご覧ください。

映画を観て、エネルギーや地域のことについて語り合しましょう!

日時: 2013年7月7日(日) 18:30 開場、映画上映 19:00~19:50、語り合い 19:50~20:45

場所: 塩尻市 えんぱーく(市民交流センター) 3階 多目的ホール

入場: 300円(事前申込みは不要、大学生以下無料)、主催: 自然エネルギーネットまつもと